

今年（ことし）は梅（うめ）の開花（かいが）が遅（おそ）く、境内（きんじ）の梅（うめ）もそろそろ終（お）わりを迎（むか）え、木々（きぎ）の芽吹（めぶ）きや桜（さくら）の蕾（つぼみ）も目立（めだ）ってきています。

三日（みっぴ）は「桃（もも）の節句（せつく）」（雛祭（ひなまつ）り）です。本来（もと）は「五（ご）節句（せつく）」と言（い）って、一月（いちげつ）七日（にち）の「七（な）草（くさ）がゆ」、三月（さんげつ）三日（にち）の「桃（もも）の節句（せつく）」、五月（ごげつ）五日（にち）の「端（たん）午（ご）の節句（せつく）」、七月（しちげつ）七日（にち）の「七（な）夕（た）」、九月（きゅうげつ）九（くに）日（にち）の「菊（きく）の節句（せつく）」があり、季節（きせつ）の節目（ふしめ）に身（み）の穢（けが）れを被（ほ）ら、健康（けんこう）長（ちやう）寿（じゆ）や厄除（やくよ）けを願（ねが）う季節（きせつ）の行事（ぎぎ）でした。

人形（ひとがた）に穢（けが）れを移（うつ）し身（み）を浄（きよ）めることが行（な）われ、この人形（ひとがた）が後に立派（りっぱ）な美（うつく）しい雛人形（ひなにんぎよう）に変（か）化（くわ）し、現（げん）在（ざい）のよ（う）にな（な）りました。

人（ひと）は誰（だれ）もが、生（い）き生（い）きと充（み）実（じつ）した人（ひと）生（せい）を送（おく）りたいと願（ねが）います。そのた（た）めには生（せい）命（めい）が活（かつ）力（りき）に満（み）ちてい（い）なけ（な）ればな（な）りませ（ま）せん。

その一（い）つ（つ）の方（か）法（ぽう）が「人（じん）生（せい）儀（ぎ）礼（れい）」と言（い）わ（わ）れるも（も）の（の）で（で）す。

安産（あんざん）祈（ねが）願（がん）から始（は）まり、産湯（うぶゆ）・命（めい）名（な）・初（はつ）宮（みや）参（ま）り・お食（く）い初（ぞ）め・初（はつ）節（せつ）句（ご）・七（しち）五（ご）三（さん）詣（もうで）・立（り）志（し）式（しき）（十（じゅう）五（ご）祝（いわい））など（など）、節（ふ）目（め）ご（ご）とに神（かみ）様（さま）へ感（か）謝（しゃ）と祈（ねが）りを捧（たま）げ、常（つね）に神（かみ）様（さま）と縁（えん）を（を）持（も）ち続（つづ）けてき（き）ま（ま）し（し）た。

東（あづま）日（にっ）本（ぽん）大（だい）震（しん）災（さい）から十（じゅう）年（ねん）の節（せつ）目（め）の年（ねん）。改（か）め（め）て自（じ）然（ぜん）災（さい）害（がい）の脅（きやう）威（い）を思（おも）い起（おこ）し、神（かみ）々（々）の御（ご）加（か）護（ご）を願（ねが）わ（わ）ざ（ざ）る（る）を（を）得（と）ま（ま）せ（せ）ん。

## 今（いま）月（げつ）の行（ぎやう）事（じ）

一（いち）日（にち）

桃（もも）の節（せ）句（ご）  
五日（ごにち） 啓（き）蟄（じつ）

三（さん）日（にち）

後（ご）草（そう）・水（みづ）神（かみ）社（しゃ） 例（れい）祭（まつ）（神（かみ）楽（がく）中（ちゆう）止（し））

七（しち）日（にち）

九（く）日（にち）

一（いち）日（にち）  
東（あづま）日（にっ）本（ぽん）大（だい）震（しん）災（さい）慰（い）霊（れい）祭（まつ）

二（に）日（にち）

二（に）日（にち）  
春（はる）分（ぶん）の（の）日（にち）  
卒（そ）園（えん）報（ほう）告（こく）祭（まつ）  
二（に）三（さん）日（にち）  
二（に）四（し）日（にち）  
修（しゆ）了（りやう）報（ほう）告（こく）祭（まつ）

二（に）日（にち）

四（し）月（げつ）三（さん）日（にち）  
入（い）園（えん）報（ほう）告（こく）祭（まつ）

二（に）日（にち）  
二（に）三（さん）日（にち）  
二（に）四（し）日（にち）  
修（しゆ）了（りやう）報（ほう）告（こく）祭（まつ）

